

アップデート5.35のご案内

拝啓時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。 平素は、「社労法務システム」を御愛顧いただきまして誠にありがとうございます。

さて、このたび下記の内容のソフトウェア アップデートを行いましたので、ご確認下さい。

敬具

記

アップデート 5.35

<概要>

1. 健康保険料の改定	2
令和2年3月からの新健康保険料率に対応しました	
2. 雇用保険高年齢被保険者の雇用保険料免除廃止の対応	2
1) 事業所宛・個人宛の「雇用保険料免除廃止のお知らせ」の印刷	
2) 給与計算の対応	
3) 賞与計算の対応（賞与計算前処理）	
3. 一括申請の返戻に関する改善	3
社会保険のCSV方式において、氏名（漢字）に半角が含まれると返戻される改善 （仕様チェックプログラムではエラーとしない）	
4. 離職証明書等の改善	3
1) 月給者に関しても基礎日数算出方法設定ができるように改善	
2) 欠勤が無い場合の基礎日数についての改善	
3) 算定期間と支払期間を直接入力できるように改善（西暦入力にて）	
5. 高年齢雇用継続給付・育児介護休業給付の改善	4
賃金月額証明書同様に賃金等の取得条件設定ができるように改善	
6. 年度更新（建設業）の一括申請機能の追加	4
建設業の年度更新が一括申請できるように機能追加（一括有期事業報告書と総括表の添付が可能）	
7. 全銀銀行コードの更新	5
建設業の年度更新が一括申請できるように機能追加	
8. その他改善と不具合の対応	5
1) 36協定届の改善と不具合対応	
2) 印刷条件設定の社労士記載欄の保存機能対応	
3) 有給休暇付与処理の全員表示（在籍者）についての改善	
4) 健保厚年取得・喪失・月変届（CD）の出力内容一覧への個人番号印刷についての改善	
5) 年末調整データ入力の「本人の公的年金の所得金額」の不具合対応	
9. 次回以降のアップデート予定について	6
※ 次期 e-Gov システムについてのお知らせ 2020 年 9 月末に次期 e-Gov システムに変わります ※ e-Gov サイトからの一括申請機能が廃止されます	
※ ローカル環境での電子申請のサポート終了のお知らせ <u>社労法務クラウド（ASP）システムをご利用の方は必ずお読みください</u>	

アップデート時のご注意

インストールは、メニュー画面も含めて全ての「社労法務システム」画面を閉じた状態で行って下さい。
「シャルフ」の画面が開かれた状態でインストールを行いますと、インストールが正常に行われませんのでご注意ください。
（今回は メニューの変更があります。必ずメニューも閉じて実施して下さい。）
今回のアップデートでは データベースの変更を含んでおります ので、複数台のパソコンで「社労法務システム」をご使用の場合には、LANで接続されたパソコンでも、全ての「社労法務システム」画面を閉じた状態にしておいて下さい。
又、同じ日に全てのパソコンのインストールを完了するようにして下さい。

アップデート内容

1. 雇用保険高年齢被保険者の雇用保険料免除廃止の対応

令和2年3月より健康保険料率が改定されます。

- 今回のアップデートでは、地域別保険料率、介護保険料率、特定保険料率、及び船員保険の介護料率を更新します。
- なお、健保組合の料率は自動的に変更されませんので、改定がある場合は「共通情報管理」メニューの「健康保険組合登録」画面で『保険料率切替』により新料率を入力して下さい。

2. 雇用保険高年齢被保険者の雇用保険料免除廃止の対応

平成29年1月1日に雇用保険法が改正され65歳以上の方も雇用保険の加入対象となりました。

その際、令和2年3月までの緩和措置として継続されていた雇用保険の免除期間も終了し、令和2年4月から加入者全員の雇用保険料の徴収が開始されますのでシステムでの対応を行いました。

ユーザー様でのデータ変更などの作業は必要ありません。

1) 事業所宛・個人宛の「雇用保険料免除廃止のお知らせ」の印刷

- 平成31年4月1日現在で64歳以上の雇用保険加入者は、免除対象の高年齢被保険者になっていると思いますので免除廃止対象者を検索して、事業所宛のお知らせ(対象者一覧表)と、個人宛のお知らせを印刷できるようにしました。
- メニューの該当ボタンは、
「4. 個人情報管理」、中央列「その他入力」の下から4行目の「高年齢被保険者 雇用免除廃止通知」をご使用下さい。
- 操作方法

- ① 検索条件を指定して、画面左側の事業所一覧より事業所を選択して、「検索開始」をクリック
- ② 検索結果が画面右側の表に表示されたら、事業所宛又は、個人宛を選択して「印刷・プレビュー」をクリック
- ③ 選んだお知らせに応じた印刷設定画面が表示されます。
印刷する項目を選択したり、印刷する文言の変更も可能です。但し、設定の変更は保存されませんので、画面を閉じた後、再度開始した場合には、初期状態に戻りますのでご注意ください。
- ④ 個人宛のお知らせは Meisai-Zero にも対応しました。データは1事業所ずつ作成して下さい。
添付は「その他」で行って下さい。

2) 給与計算の対応

- 令和2年3月度・4月度・5月度の給与計算では、最初に表示される「給与月度設定」画面に「雇用保険料計算」選択欄が表示されます。
締日より自動的に「高齡免除有り」又は「高齡免除廃止」が選択されますので、ご確認の上必要に応じて変更して下さい。
※ 選択内容は保存されます。
- 上記選択で「高齡免除廃止」を選択すると「高年齢被保険者」の方も雇用保険料の計算が行われます。
※ 令和2年6月以降の給与計算では、この選択画面欄は表示されず自動的に「高齡免除廃止」が選択された状態で計算が行われます。

3) 賞与計算の対応(賞与計算前処理)

- 令和2年3月度・4月度・5月度の賞与計算では、確認のため最初に「雇用保険高年齢被保険者の免除有無設定」画面が表示されます。
- 月度により自動的に「免除する」又は「免除しない」が選択されますので、ご確認の上必要に応じて選択を変更して下さい。
- 「免除しない」を選択して、データの作成を行うと、前処理データの「高年齢被保険者」の「雇用区分」が「加入」となり、賞与計算で雇用保険料が計算されるようになります。
「免除する」の場合は「高年齢被保険者」の雇用区分は「免除」となり賞与計算で雇用保険料は計算されません。
※ 令和2年6月以降の賞与計算では、この選択画面欄は表示されず自動的に「免除しない」が選択された状態で計算が行われます。

3. 一括申請の返戻に関する改善

社会保険の CSV 方式手続きにおいて、氏名 (漢字) に半角が含まれると返戻されるとの情報がありましたので、下記のように改善を行ないました。

- 1) 個人情報より氏名を表示する際に、全角文字に変換して表示するように改善
 - 2) 申請情報チェックにて半角文字をエラーとするように改善
- ※ 上記返戻については、日本年金機構が提供している「仕様チェックプログラム」でもエラーにはなりません

4. 離職証明書等の改善

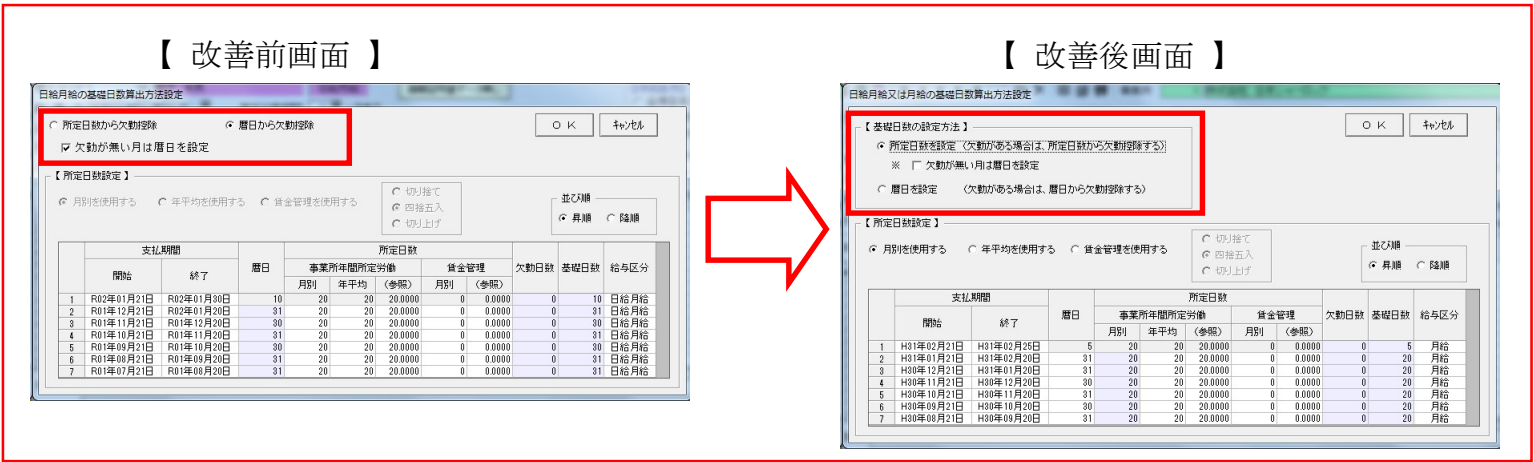
離職証明書と60歳到達時賃金月額証明書、休業開始時賃金月額証明書において、下記要望により改善行ないました。

- 1) 現在、日給月給者の場合のみ基礎日数算出方法設定ができますが、月給者についても設定ができるようにしてほしいとの要望がありましたので改善を行ないました。
- 2) 欠勤が無い場合の基礎日数について、ハローワークより所定労働日数を記載するように指導があったとの報告がありましたので調査した結果、下記の通りに改善を行ないました。

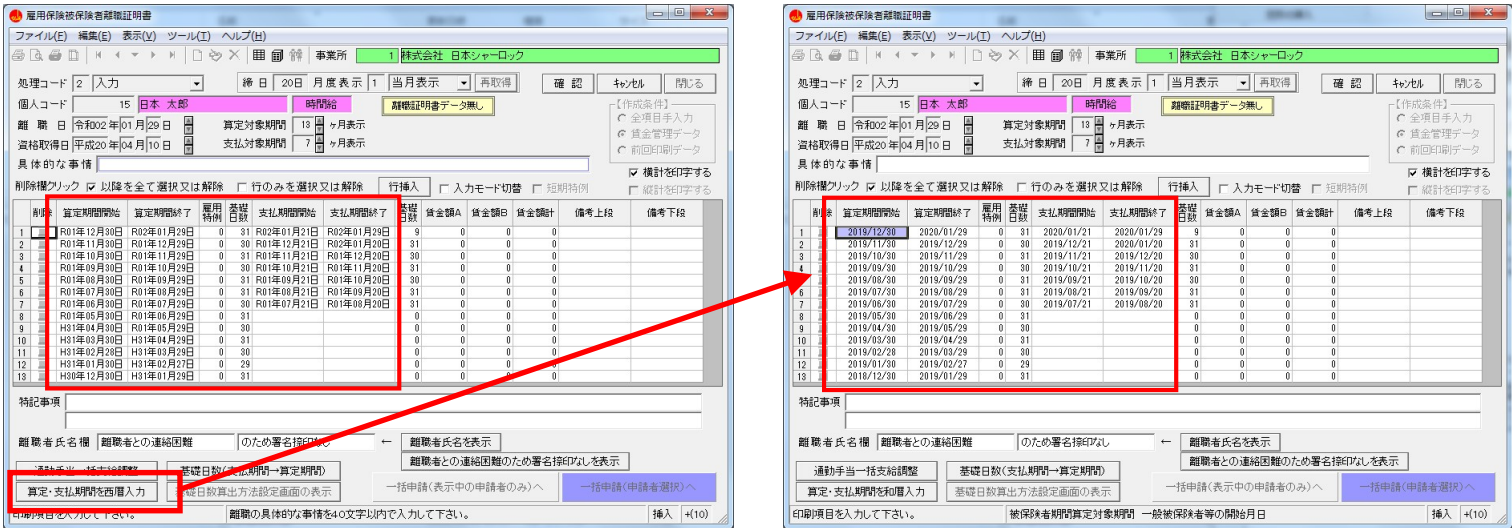
- ・ハローワークに確認した内容
完全月給者は暦日を記載するが、その他月給者又は日給月給者は所定日数を記載する
※ 欠勤があった場合は上記日数より欠勤日数を控除する
- ・改善内容

完全月給者より、その他月給者又は日給月給者のほうが多いと判断した結果、所定日数が最初に選択されるように改善しました。(現状は暦日から欠勤控除が選択されていました)
また、欠勤がない場合はそのまま所定日数を記載することなので、「欠勤が無い月は暦日を設定」が選択されていない状態になるように改善しました。
最後に誤解を与える可能性がある文言を改善しました。

「所定日数から欠勤控除」 → 「所定日数を設定 (欠勤がある場合は、所定日数から欠勤控除する)」
「暦日から欠勤控除」 → 「暦日を設定 (欠勤がある場合は、暦日から欠勤控除する)」



- 3) 算定期間と支払期間にて令和対応した際に日付が直接入力できない (別画面が表示される) ので、直接入力できるようにしてほしいとの要望がありましたので改善を行ないました。



5. 高年齢雇用継続給付・育児介護休業給付の改善

賃金月額証明書同様に賃金等の取得条件設定ができるようにしてほしいとの要望がありましたので改善を行ないました。

条件設定をクリックすることで、条件設定を行なうことができます

6. 年度更新(建設業)の一括申請機能の追加

建設業の年度更新については一括申請ができませんでしたが、今年より一括申請できるように改善を行ないました。

- 1) 一括有期事業報告書と総括表を添付できるように、「PDF出力」できるように改善しました。

PDF出力用に「ダウンロード等用紙」が選択できるようになりました。

※ ダウンロード等用紙は「年度更新申告書計算支援ツール用紙」と「正副あり用紙」の2種類を用意してあります。

用紙については管轄の労働局等にお尋ねください。（e-Gov サイトに記載あり）

- 2) 一括申請の申請手続名の選択画面に、「労働保険年度更新申告(建設の事業)」を追加しました。

詳細入力については、労働保険年度更新申告と同様です。

相違点は一括有期事業報告書と総括表の添付が可能になった点となります。

ここで一括有期事業報告書と総括表が添付できます

7. 全銀銀行コードの更新

銀行・支店の合併・新設・廃止等により、共通銀行マスタ登録画面で追加時に表示する銀行一覧表を更新しました。

- ・下記の銀行が削除されています。(全銀銀行コードがなくなりました)

全銀銀行コード	銀行名
555	大正
1986	南郷信金
2358	さくらの街信組
3124	新冠町農協
3125	しずない農協
3129	ひだか東農協
5002	佐原農協
5011	多古町農協
5139	伊勢原市農協

- ・下記の銀行の銀行名が変更されています。(全銀銀行コードに変更はありません)

全銀銀行コード	銀行名	
	変更前	変更後
572	徳島	徳島大正
1980	宮崎都城信金	宮崎第一信金
2357	新栄信組	はばたき信組

- ・その他、銀行の合併・新設・廃止の関連で支店の統廃合・名称変更等が発生しています。
- ・変更関連の銀行については共通銀行マスター登録画面でご確認・変更をお願いします。

8. その他改善と不具合対応

- 36協定届の改善と不具合対応
 - ・労働者代表の横に「㊟」を印刷してほしいとの要望がありましたので、「㊟」を印刷できるように改善を行ないました。
印刷条件設定画面の「労働者代表」の横に「印を印刷する」を追加しました。
 - ・休日労働の「労働させることができる法定休日における始業及び終業の時刻」に「24:00」を選択すると始業と終業が印刷されない不具合が報告されましたので、正しく印刷されるように改善を行ないました。
 - ・特別条項付協定書において、延長することができる時間数・休日労働等に「同上」や文章で入力を行なった場合に正しく保存されないとの報告がありましたので、正しく保存されるように改善を行ないました。
- 社保雇用業務等の各申請用紙を印刷する場合に「社労士記載欄」の印刷条件設定が一部保存されない用紙がありましたので保存されるように改善を行ないました。
- 有給休暇付与処理にて「全員表示(在籍者)」を選択した場合に入社日に未来の日付を入力してある人も表示されるのでまだ入社していない人は表示しないでほしいとの要望がありましたので改善を行ないました。
「全員表示(在籍者)」を選択した場合に下記選択肢を追加しました。
「以降在籍」「時点在籍」
- 健保厚年取得・喪失・月変届(CD)にてCD申請用ファイルを作成した時に出力内容一覧に個人番号が印刷されるので一括申請のように印刷判断ができるようにしてほしいとの要望がありましたので改善を行ないました。
出力内容チェックリストの印刷欄にて選択ができるように改善を行ないました。
- 年末調整データ入力にて「本人の公的年金の所得金額」が正しく表示されないとの報告がありましたので改善を行ないました。 ※ 合計所得金額は正しく表示されています

9. 次回以降のアップデート予定について

雇用保険法改正に伴う資格取得届、喪失届等の様式変更への対応

労基法改正に伴う「年次有給休暇管理簿の機能追加」 第2弾

※ 実際のアップデートについては各対応が出来次第お送り致します。

※ アップデート予定については予告なく変更される場合があります。 また、順番についても状況等により変更となる場合があります。

次期 e-Gov システムについてのお知らせ

2020 年 9 月末に次期e-Govシステムに変わります

次期 e-Gov システムへの切替をもって、e-Gov からの一括申請機能が廃止されます。

現在、一括申請にて作成された申請ファイル (ZIP 形式) を e-Gov のパーソナライズにログインして申請している方は社労法務システムAPIからの申請に切り替えていただきますようお願いいたします。

社労法務クラウド (ASP) システムをご利用の方へのお知らせ

ローカル環境での電子申請 (社労法務ASPローカル版メニューより申請) をご利用のユーザー様へ前回アップデートを持って、ローカル版メニューのサポートを終了させていただきました。

2020 年 1 月 1 日 以降、社保雇用業務メニューの下記処理は使用できなくなっています。

1. 社保雇用業務メニュー
 - 1) ローカルシステムの環境設定
 - 2) ローカルよりDBアップロード
 - 3) 一括申請 (ローカル)
2. 労働保険業務メニュー
 - 1) 一括申請 (労働保険適用徴収:ローカル)